

科目名	人の構造及び機能Ⅱ						授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	1年	後期	
【授業の目的・ねらい】 正常な人体の構造と機能を学ぶことは、医療に関わりをもつ者にとって共通の基盤をなす基礎知識となります。この共通する基礎知識を通して、数多くの病態に対する治療への対応が成り立っています。本講義を通して人体の構造及び機能の全体像をつかみ、各種器官の機能の役割を統合的に理解することを目的としています。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 人体に関連する医療用語と、各器官の位置関係、構造とはたらきについて解説する。さらに病気との関連や臓器同士の関連性などについても合わせて解説を加える。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・人体の正常な構造を自分の言葉で説明できるようになる。 ・各器官の機能や役割を理解し説明できるようになる。											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	尿路の構造と働き，生殖器系について										
2	泌尿器系によくみられる病気，尿の性状について										
3	内分泌系，糖尿病は血管病？かについて										
4	骨と筋肉の働き，全身を形成する骨格について										
5	骨の構造と働き，骨の成長と老化について										
6	関節のしくみと働き，骨格筋の構造と働きについて										
7	筋収縮のしくみ，筋肉のエネルギー代謝について										
8	運動と筋肉，骨と筋肉によくみられる病気と障害について										
9	神経のしくみと働き，中枢神経について										
10	脳の役割分担，末梢神経について										
11	体性神経と自立神経の働き，神経伝達のメカニズムについて										
12	体の動きを制御するしくみ，神経系に関する病気について										
13	感覚器を構成する器官，視覚について										
14	聴覚，平衡覚，臭覚，味覚について										
15	皮膚感覚，内臓感覚について										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 ・新版 エッセンシャル解剖・生理学、堀川 宗之、秀潤社 ・配布資料											
【準備学習・時間外学習】 ・事前に教科書を読んで講義に臨むこと ・授業は口頭説明まで含めてノートをとること ・講義後は教科書の要点と板書内容をまとめ、自分用のノートを作成すること											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストを40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する											